



警戒レベル Stage3! 新型コロナウイルス感染症

令和3年8月18日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和3年第32週分・8月9日～8月15日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、8月15日時点で1,140,857例となり、15,401例の死亡が確認されています。全国の新規感染者数(図;折れ線グラフ)は多くの地域で増加し、感染が急速に拡大しています。8月20日から緊急事態宣言の対象が13都府県に拡大され、期限は9月12日まで延長されます。また、まん延防止等重点措置は8月20日から、富山県を含む16道県で実施されることとなりました。

県内の今週の新規感染者数は436例報告され(図;棒グラフ)、8月15日時点の累積感染者数は3,057例になりました。新規感染者数及び入院患者数が増加し続けていることから、県は8月16日から警戒レベルをステージ3へ引き上げました。ステージ3では昼夜を問わず、不要不急の外出や会食を自粛することが求められます。

県外での感染が疑われ、職場や家庭内で感染が広がった事例が複数認められています。更なる感染拡大を防ぐため、県境をまたぐ不要不急の往来は慎重に判断してください。また、県内各市町村でワクチン接種が進んでいますが、ワクチン2回接種後もマスクを着用し、これまで通りの感染対策を行うことが必要です。

衛生研究所では、6月上旬から感染性が高いデルタ株を検出するためのL452R変異検査を実施しており、8月9日～8月15日のL452R変異検査は165件中159例(96%)が陽性となり、ほぼアルファ株からデルタ株に置き換わりました。変異株に対しても、感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった個人が取り組むべき感染対策は同じです。デルタ株による感染拡大を防ぐため、引き続き高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。

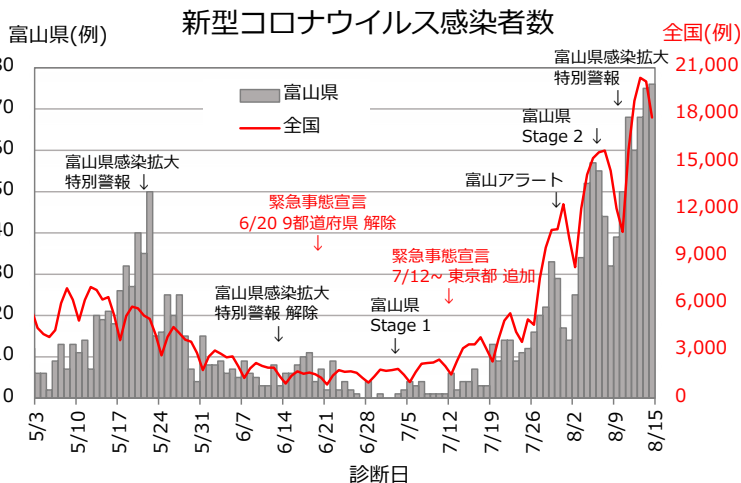
《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 436件
- 二類感染症 結核 1件 (①第31週診断分:70歳代、男性 ②80歳代、男性)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1件 (70歳代、男性)
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (70歳代、男性、B群)
- 梅毒 2件 (①20歳代、男性、早期顕症梅毒I期 ②30歳代、女性、早期顕症梅毒II期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	RSウイルス感染症	2.17(↓)	3.00
2位	感染性胃腸炎	1.90(↑)	1.83
3位	ヘルパンギーナ	0.62(↓)	2.14
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.31(↑)	0.14
5位	突発性発しん	0.24(↓)	0.28
6位	水痘	0.14(↓)	0.17
	流行性角結膜炎	0.14(↑)	0.00

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>
お問い合わせURL: https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/#tmp_inquiry



○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第32週 令和3年8月9日～令和3年8月15日）

分類	疾患	今週報告分（第32週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	51	19	111	23	213	19	436	222	175	679	177	1,160	64	2,477
二類感染症	結核					1		1	8	6	24	11	31		80
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	5	1	2		9
四類感染症	E型肝炎								2				1		3
	A型肝炎								1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症								1	3	8	1	5		18
五類感染症	アメーバ赤痢								1						1
	ウイルス性肝炎								2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1		1			1	2	3		6
	急性脳炎										1		1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1			1			3	2	2		7
	後天性免疫不全症候群								1				1		2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		10		13
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒					2		2	1	1	4		16		22
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風										1				1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5			
RSウイルス感染症		1		26	34	2		63	128	123	1,561	317	812		2,941
		0.25		3.25	8.50	0.20		2.17							
咽頭結膜熱			2					2	32	38	132	6	138		346
			0.67					0.07							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1		2	1	5		9	61	37	434	82	210		824
		0.25		0.25	0.25	0.50		0.31							
感染性胃腸炎		20	9	16	1	9		55	565	300	491	177	1,114		2,647
		5.00	3.00	2.00	0.25	0.90		1.90							
水痘						4		4	1	6	26	8	35		76
						0.40		0.14							
手足口病									7		12	1	12		32
伝染性紅斑				2				2		1	9	1	19		30
				0.25				0.07							
突発性発しん		1	2	2	1	1		7	43	26	109	45	96		319
		0.25	0.67	0.25	0.25	0.10		0.24							
ヘルパンギーナ		2		14		2		18	25	1	72	3	14		115
	0.50		1.75		0.20		0.62								
流行性耳下腺炎			2				2	2	2	8	5	11		28	
			0.25				0.07								
流行性角結膜炎	1						1	1	1					2	
	1.00						0.14								
細菌性髄膜炎												2		2	
無菌性髄膜炎												2		2	
マイコプラズマ肺炎										1	7	1		9	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								1						1	
インフルエンザによる入院患者（※2）											1	8		9	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週（8月31日）～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年7月分）

		7月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			3		9	12		1	11		54	66
				1.00		2.25	1.20						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症					2	2		3	3	2	29	37
						0.50	0.20						
	尖圭コンジローマ				2	1	3				5	10	15
					2.00	0.25	0.30						
	淋菌感染症					2	2	1				8	9
						0.50	0.20						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			4	2	8	14	5	8	15	7	28	63
				4.00	2.00	8.00	2.80						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1	1	1	3	3		14	1	1	19
				1.00	1.00	1.00	0.60						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。